

会社概要 (2022年3月31日現在)

商号	株式会社和井田製作所 (英文社名:WAIDA MFG. CO., LTD.)
所在地	〒506-0824 岐阜県高山市片野町2121番地
設立	1946年10月22日
資本金	8億4,330万円
従業員数	165名(連結)
連結子会社	和井田友嘉精機股份有限公司(台湾)

役員 (2022年6月21日現在)

代表取締役会長	和井田 光 生
代表取締役社長	森 下 博
代表取締役副会長	久 保 朝 義
取締役	松 村 忠 典
取締役	比 良 謙 吾
取締役	疋 田 寿 久
取締役(監査等委員)	田 村 孝 至
取締役(監査等委員)	渡 邊 一 (弁護士)
取締役(監査等委員)	山 下 英 一 (税理士)

(注) 渡邊一氏および山下英一氏の両名は、社外取締役であります。  
両名を独立役員として指定し、東京証券取引所に届け出ております。

株式の状況 (2022年3月31日現在)

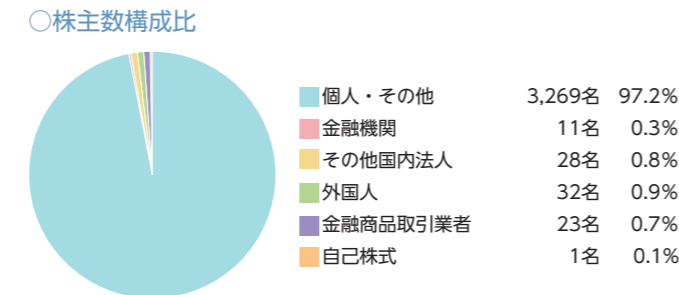
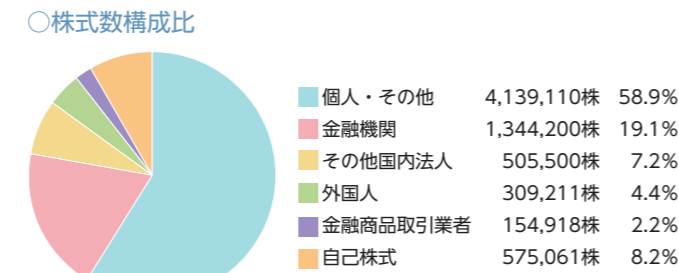
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,028,000株(自己株式575,061株を含む)
株主数	3,364名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
和井田 光生	434,253	6.73
和井田 徹生	358,060	5.55
株式会社十六銀行	321,300	4.98
株式会社三菱UFJ銀行	321,000	4.97
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	283,500	4.39
和井田 叔子	234,000	3.63
MSIP CLIENT SECURITIES	167,900	2.60
和井田製作所従業員持株会	163,029	2.53
和井田 克子	121,200	1.88
和井田 雅生	120,800	1.87

(注) 持株比率については、自己株式(575,061株)を控除して算出しております。

株式分布状況 (2022年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告方法	電子公告 アドレス: <a href="https://www.waida.co.jp/">https://www.waida.co.jp/</a> ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所	〒460-8685 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
・未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



photo by ikedo

3年ぶりに本格的に再開された春の高山祭り(岐阜県高山市)

業績ダイジェスト(連結)

第93期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の当社グループは、世界的な景気回復を背景に、前期比で増収増益となりました。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
第93期実績	6,485百万円 前期比 54.2%増	981百万円 前期比 243.0%増	1,042百万円 前期比 220.0%増	694百万円 前期比 212.2%増
第94期 通期業績予想	7,274百万円 前期比 12.2%増	1,035百万円 前期比 5.5%増	1,049百万円 前期比 0.7%増	730百万円 前期比 5.2%増





## 代表取締役の異動について

株主の皆さまには日ごろから和井田製作所グループをご支援いただき、心から御礼申し上げます。

当社は、2022年6月21日の株主総会およびその後の取締役会の決議を経て、和井田光生を代表取締役会長、森下博を代表取締役社長、久保朝義を代表取締役副会長とする新体制を発足させました。

この代表取締役3名体制により、迅速かつ柔軟な意思決定ならびに経営体制の拡充および円滑な移行を図ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
森下 博

代表取締役会長  
和井田 光生

## トップメッセージ

このたび、代表取締役社長に選任され、就任しました森下博でございます。

和井田製作所は創業以来、「常によりよいものを求めて止まることなく歩み続ける」ことを企業理念とし、世の中になく機械をつくり、お客さまの満足を第一に考えてまいりました。

私は、こうした企業理念や取り組みを受け継ぎながら、新しい事業の展開を図り、新しい市場を開拓し、よりよい製品を世界中のお客さまにお届けしていきたいと考えております。そして、収益機会を拡大し、企業価値を高めていきます。

これからも、持てる力のすべてを尽くし、役職員が一体となって株主の皆さま、お客さま、お取引先さま、そして社会の皆さまのご期待に応えてまいり所存ですので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 森下 博

## トピックス

### 自動化生産設備の導入

生産性向上に向けた取り組みの一環として、老朽化した生産設備を、自動運転可能な高生産性設備へと更新を進めております。

写真の設備は本年6月からの本格稼働を予定しており、第94期はその他複数の設備更新を計画しております。一昨年から導入しております工程管理システム（生産スケジューラー）と合わせ、自動運転の拡大など生産設備稼働の最大効率化を推進してまいります。



現在導入中の生産設備

### 欧州現地法人設立の進捗状況

当社の重点課題であるグローバルニッチトップ戦略の中核となる取り組みとして、ドイツのフランクフルトに現地法人“WAIDA Europe GmbH”を設立する運びとなりました。

当現地法人を足がかりとして営業体制・ユーザーサポート体制を拡充し、欧州域でのさらなるシェア拡大をめざしてまいります。



当社現地法人が入居するオフィスビル

## 第93期の概況

第93期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の当社グループは、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ禍」という）に対する各種対策により正常化が進む世界経済を背景に、受注は大幅に回復しました。

一方で、半導体不足に端を発した各種電装品、電気部品の供給不足、また、コロナ禍の影響による各種部材の調達難など、受注に対応した生産を維持するため緊迫した状況が続きました。

特に調達不能となった部品については、製品の設計を一部変更し代替品へ切替えるなど、調達部署、生産部署と開発部署の連携を密にし、お客さまへの供給責任を果たしてまいりました。

このような状況から、売上高はコロナ禍前（第91期）の約8割の水準まで回復しております。

## 第94期の見通し

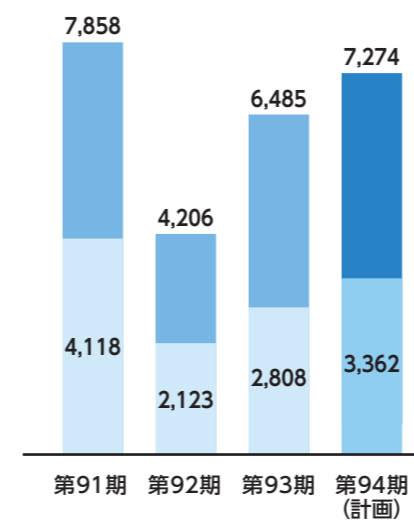
第94期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の市場環境は、コロナ禍の影響は残るものの世界的な回復基調は継続するものと想定しております。一方で、ウクライナ情勢や中国におけるロックダウンの影響など予断を許さない問題を抱えております。

これらの外部環境により、前期（第93期）同様に受注に対応した生産維持に苦慮する状況が継続すると予想されること、また、中国向けの販売が弱含むことが予想されるため、売上高は前期比約1割増を見込んでおります。

利益については、原材料、部品の価格上昇による影響や、大型生産設備の更新にともなう償却負担、欧州現地法人の立上げにともなう費用負担などを見込んでおりますことから前期（第93期）とほぼ同水準にとどまるものと想定しております。

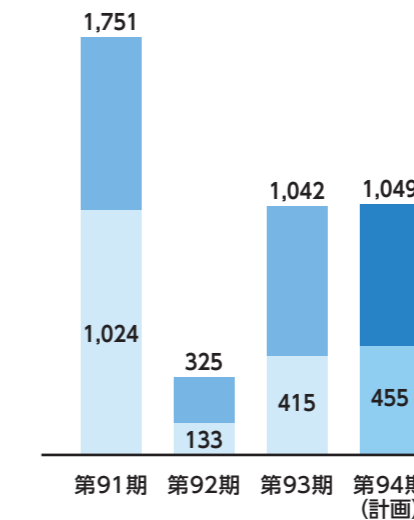
売上高(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



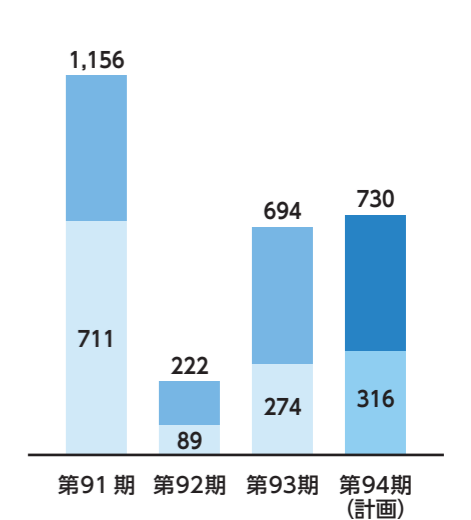
経常利益(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



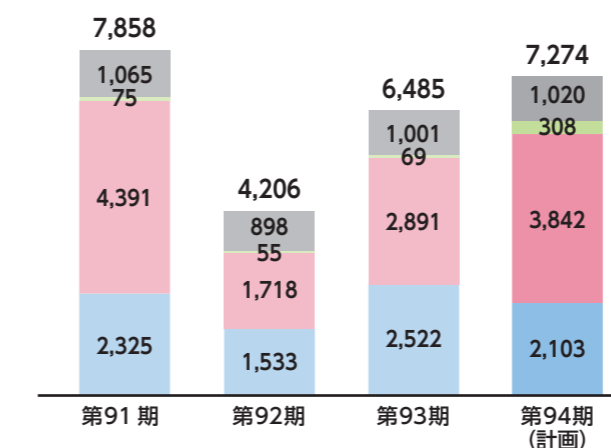
親会社株主に帰属する当期純利益(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



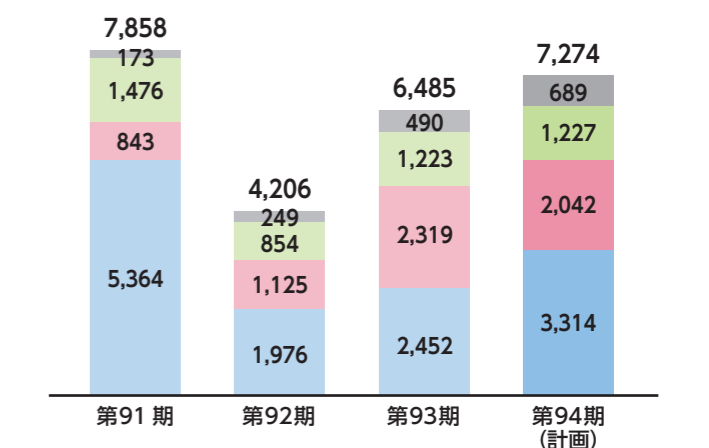
品目別売上高(単位:百万円)

■ 金型関連研削盤 ■ その他の機械  
■ 切削工具関連研削盤 ■ アフターサービス



地域別売上高(最終据付地にて集計)(単位:百万円)

■ 国内 ■ 中国  
■ アジア地域(中国を除く) ■ 欧米等



※ 記載金額は、表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。